

各 位

上場会社名	株式会社 山陽百貨店
代表者	代表取締役社長 高野 勝
(コード番号)	8257)
問合せ先責任者	取締役経営企画統括ゼネラルマネジャー 岩野 誠
(TEL)	079-223-1231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月21日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年2月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,736	98	43	34	43.40
今回発表予想(B)	10,143	55	21	21	26.96
増減額(B-A)	593	43	22	13	
増減率(%)	5.5	43.8	50.3	37.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期)	11,301	156	120	106	133.07

平成22年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,493	151	54	37	46.24
今回発表予想(B)	20,342	70	24	16	21.05
増減額(B-A)	1,151	80	30	20	
増減率(%)	5.4	53.2	55.9	54.5	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	22,622	230	148	100	125.17

平成22年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,708	97	36	30	38.13
今回発表予想(B)	10,116	47	4	8	11.14
増減額(B-A)	592	50	32	21	
増減率(%)	5.5	51.4	88.7	70.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期)	11,272	157	109	107	133.67

平成22年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,431	158	48	32	40.54
今回発表予想(B)	20,280	78	18	12	15.36
増減額(B-A)	1,151	80	30	20	
増減率(%)	5.4	50.7	63.0	32.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年2月期)	22,565	244	145	106	132.05

修正の理由

(第2四半期累計期間)

上半期におきましては、雇用情勢の悪化等を背景とした慢性的な消費不振に加え、第1四半期の新型インフルエンザ、また、第2四半期の長梅雨、冷夏の影響をそれぞれ受け、売上高は前回予想を592百万円下回る見込みです。

一方、人件費のみならず広告宣伝費や地代家賃をはじめとする業務費の削減に徹底して努めた結果、前回予想と比べ153百万円の経費削減を達成しました。しかしながら、売上高の減少を補うことは出来ず、営業利益は前回予想と比べ50百万円減少する見込みです。

経常利益及び四半期純利益につきましては、営業利益の減少による影響が主要因となり、前回予想を下回る見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正に伴い修正いたします。

(通期)

下半期におきましても、引き続き厳しい消費環境が予想され、また、新型インフルエンザ流行等のマイナス材料発生の可能性が懸念されるため、売上高は前回予想比5.2%の減少と予想しました。しかしながら、上半期に着手した広告宣伝費や地代家賃などの各経費の削減効果により、下半期の最終利益は達成できる見込みです。

この結果、通期個別業績につきましては、前回予想と比べて売上高は1,151百万円減の20,280百万円、営業利益は80百万円減の78百万円、経常利益は30百万円減の18百万円、当期純利益は20百万円減の12百万円となる見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正及び連結子会社の動向に基づき修正いたします。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上